大分大学福祉健康科学部履修規程

平成２７年９月２８日制定
平成２７年規程第４５号

（趣旨）

第１条　この規程は，大分大学学則（平成１６年規則第８号）に定めるもののほか，大分大学福祉健康科学部（以下「本学部」という。）の教育課程の授業科目，履修方法等に関し必要な事項を定める。

（学科及びコース）

第２条　本学部の学科及びコースは，次のとおりとする。

学科	コース
福祉健康科学科	理学療法コース 社会福祉実践コース 心理学コース

（教育課程）

第３条　本学部の教育課程における授業科目区分は，教養教育科目，共通基礎科目，共通発展科目，チュートリアル科目及びコース専門科目とする。

２　前項の教養教育科目は，全学共通科目，外国語科目及び身体・スポーツ科学科目に区分する。

３　第１項の共通発展科目は，生体分野，社会分野及び心理分野に区分する。

４　第１項のコース専門科目は，理学療法コース専門科目，社会福祉実践コース専門科目及び心理学コース専門科目に区分する。

（卒業要件）

第４条　本学部所定の教育課程を修了するためには，第２条に規定するコースごとに別表第１のとおり授業科目を履修し，理学療法コースにあっては合計１３１単位以上，社会福祉実践コース及び心理学コースにあっては合計１２４単位以上を修得しなければならない。

（授業科目及び履修方法）

第５条　共通基礎科目，共通発展科目，チュートリアル科目及びコース専門科目の授業科目，履修方法等は，別表第２のとおりとする。

２　その他授業科目，履修方法等に関し必要な事項は，別に定める。

（履修手続）

第６条　学生は，毎学期始めの所定の期日までに，その学期において履修しようとする授業科目を，別に定める様式により学部長に届け出なければならない。

２　各学期において履修登録できる単位数の上限については，別に定める。

３　学生は，科目履修登録の変更を，学期開始から２週間後までの間に行うことができる。
４　学生は，科目履修登録の取消しを，学期開始から４週間後までの間に行うことができる。

（実習科目の履修登録要件）
第７条　理学療法コース専門科目における臨床実習科目の履修登録の要件は，別表第３に規定するとおりとする。
２　社会福祉実践コース専門科目における実習系科目の履修登録の要件は，別表第４に規定するとおりとする。
３　心理学コース専門科目における実習科目の履修登録の要件は，別表第５に規定するとおりとする。

（履修科目の登録の上限）
第８条　１学期間に履修科目として登録することができる単位数の上限は，２８単位とする。ただし，基礎研究科目，理学療法コース専門科目の研究系科目及び臨床実習科目，社会福祉実践コース専門科目の実習系科目，心理学コース専門科目の実習科目並びに集中講義の単位は，当該単位には含まないものとする。
２　所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については，前項に規定する上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。

（定期試験）
第９条　定期試験の受験要件は，授業科目ごとに定める。
２　授業回数の３分の１を超えて欠席した学生は，定期試験を受験することができない。

（追試験）
第１０条　病気，忌引，就職試験その他のやむを得ない事情により，定期試験を受験できなかった者に対し，本人の願い出により追試験を許可することがある。
２　追試験を希望する者は，所定の願書にその理由に応じて医師の診断書，就職試験先の受験証明書その他の証明書を添付の上，担当教員の認印を受けて，欠席した試験日から１週間以内に学部長に願い出なければならない。

（再試験）
第１１条　定期試験及び追試験において再試験の評価を受けた科目については，再試験を受けることができる。
２　再試験は，当該学期末までの間に担当教員の指示により実施する。

（不正行為に対する措置）
第１２条　定期試験，追試験，再試験等において不正行為を行った者の当該学期における全単位は，無効とする。

（成績評価に係る申立て）

第１３条　大分大学福祉健康科学部規程（平成２８年福祉健康科学部設置室規程第１号）第１４条に規定する成績評価に係る申立てを行う学生は，成績開示日から２週間以内に，申立書（所定の様式）を学部長に提出するものとする。

２　前項の申立書の提出は，一の授業科目につき１回とし，同一の授業科目について再度申立書を提出することはできない。

３　申立てを受けた当該授業担当教員は，申立書受理日から１週間以内に回答書（所定の様式）を学部長に提出するものとする。

４　申立書の回答の通知を受けた学生は，回答内容についての確認書を作成の上，学部長に提出するものとする。

（雑則）

第１４条　この規程に定めるもののほか，本学部の教育課程の授業科目，履修方法等に関し必要な事項は，教授会の議を経て別に定める。

附　則

この規程は，平成２８年４月１日から施行する。

附　則（平成２８年福祉健康科学部設置室規程第３号）

この規程は，平成２８年４月１日から施行する。

附　則（平成２８年福祉健康科学部規程第３号）

この規程は，平成２８年１０月１７日から施行し，同年４月１日から適用する。

附　則（平成２９年福祉健康科学部規程第１号）

この規程は，平成２９年４月１日から施行する。

附　則（平成２９年福祉健康科学部規程第２号）

１　この規程は，平成３０年４月１日から施行する。

２　この規程の施行日の前日に福祉健康科学部に在学している学生の授業科目及び単位数並びに履修方法については，改正後の大分大学福祉健康科学部履修規程の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（平成３１年福祉健康科学部規程第１号）

１　この規程は，平成３１年４月１日から施行する。

２　この規程の施行前に改正前の大分大学福祉健康科学部履修規程別表第２に規定する福祉サービスの組織と運営及び障害児者福祉論の授業を履修し，単位を修得した者は，この規程による改正後の大分大学福祉健康科学部履修規程別表第２に規定する福祉サービスの組織と経営及び障害児・者福祉論の授業を履修し，単位を修得したものとみなす。

附　則（令和２年福祉健康科学部規程第１号）

この規程は，令和２年２月１日から施行する。

附　則（令和２年福祉健康科学部規程第４号）

１　この規程は，令和２年４月８日から施行し，改正後の大分大学福祉健康科学部履修規程の規定は，同月１日から適用する。

２　この規程の適用日の前日に福祉健康科学部に在籍している学生の授業科目及び単位数並びに履修方法については，改正後の大分大学福祉健康科学部履修規程の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（令和３年福祉健康科学部規程第１号）

１　この規程は，令和３年４月１４日から施行し，改正後の大分大学福祉健康科学部履修規程の規定は，同月１日から適用する。

２　この規程の適用日の前日に福祉健康科学部に在籍している学生の授業科目及び単位数並びに履修方法については，改正後の大分大学福祉健康科学部履修規程の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（令和４年福祉健康科学部規程第１号）

１　この規程は，令和５年４月１日から施行する。

２　この規程の施行日の前日に福祉健康科学部に在籍している学生の授業科目及び単位数並びに履修方法については，改正後の大分大学福祉健康科学部履修規程の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（令和５年福祉健康科学部規程第１号）

この規程は，令和５年４月１日から施行する。

附　則（令和６年福祉健康科学部規程第１号）

この規程は，令和６年４月１日から施行する。

附　則（令和６年福祉健康科学部規程第２号）

１　この規程は，令和６年４月１日から施行する。

２　この規程の施行日の前日に福祉健康科学部に在籍している学生の授業科目及び単位数並びに履修方法については，改正後の大分大学福祉健康科学部履修規程の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（令和６年福祉健康科学部規程第４号）

この規程は，令和６年７月１０日から施行する。

別表第１（第４条関係）

（１）理学療法コース

区分	履修要件
教養教育科目	①～⑥の区分ごとに定める単位数以上を履修すること。 また，「大分を創る科目」を履修し，２単位以上を修得すること。 ① 導入・転換　４単位　◆「基礎ゼミ」「大分大学入門」「データサイエンス入門」必修 ② 福祉・地域　４単位　◆「医療倫理」必修 ③ 文化・国際 ④ 社会・経済 ⑤ 自然・科学 ③～⑤のいずれかの区分から２単位 ⑥ 海外・語学　４単位　◆「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「英語Ⅲ」「英語Ⅳ」必修
共通基礎科目	開講される全ての授業科目を履修すること。
共通発展科目	生体分野及び心理分野において開講される全ての授業科目を履修すること。 社会分野において開講される「こども家庭ソーシャルワーク概論」及び「こどもの精神医学入門」を除く全ての授業科目を履修すること。
チュートリアル科目	開講される全ての授業科目を履修すること。
コース専門科目	理学療法コース専門科目を全て履修すること。 １）基礎系　２４単位 ２）専門系　３０単位 ３）研究系　４単位 ４）臨床実習　２０単位

（２）社会福祉実践コース

区分	履修要件
教養教育科目	①～⑥の区分ごとに定める単位数以上を履修すること。 また，「大分を創る科目」を履修し，２単位以上を修得すること。 ① 導入・転換　４単位　◆「基礎ゼミ」「大分大学入門」「データサイエンス入門」必修 ② 福祉・地域　４単位 ③ 文化・国際 ④ 社会・経済 ⑤ 自然・科学 ③～⑤の区分から４単位 ⑥ 海外・語学　４単位　◆「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「英語Ⅲ」「英語Ⅳ」必修
共通基礎科目	開講される全ての授業科目を履修すること。
共通発展科目	生体分野，社会分野及び心理分野において開講される全ての授業科目を履修すること。
チュートリアル科目	開講される全ての授業科目を履修すること。
コース専門科目	基礎研究科目以外の区分から「高齢者福祉」を含む５５単位を履修すること。 なお，社会福祉士及び精神保健福祉士の資格取得を目指す場合は履修すべき科目が指定されているため，注意すること。 １）概論系 ２）制度政策系 ３）社会福祉分野系 ４）相談援助技術系 ５）演習系 ６）実習系 ７）精神保健福祉系 ５５単位 ８）基礎研究科目　１２単位

（３）心理学コース

区分	履修要件
教養教育科目	①～⑥の区分ごとに定める単位数以上を履修すること。 また，「大分を創る科目」を履修し，２単位以上を修得すること。 ① 導入・転換　４単位　◆「基礎ゼミ」「大分大学入門」「データサイエンス入門」必修 ② 福祉・地域　４単位 ③ 文化・国際 ④ 社会・経済 ⑤ 自然・科学 ③～⑤の区分から４単位 ⑥ 海外・語学　４単位　◆「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「英語Ⅲ」「英語Ⅳ」必修
共通基礎科目	開講される全ての授業科目を履修すること。
共通発展科目	生体分野及び心理分野において開講される全ての授業科目を履修すること。 社会分野において開講される「こども家庭ソーシャルワーク概論」及び「こどもの精神医学入門」を除く全ての授業科目を履修すること。
チュートリアル科目	開講される全ての授業科目を履修すること。
コース専門科目	基礎研究科目以外の区分から選択で５９単位を履修すること。 なお，公認心理師の資格取得を目指す場合は履修すべき科目が指定されているため，注意すること。 １）心理学基礎系 ２）生理認知心理学系 ３）発達・教育心理学系 ４）社会・産業心理学系 ５）臨床心理学系 ６）隣接領域系 ７）実践職能系 ５９単位 ８）基礎研究科目　１０単位

別表第２（第５条関係）

（１）共通基礎科目

授業科目の名称	配当年次	履修区分	単位数	授業時間数（時間）
福祉健康科学概論	１前	必修	１	１５
地域包括ケア概論	１前	必修	１	１５
リハビリテーション概論	１前	必修	１	１５
アーリー・エクスポージャー	１前	必修	１	３０

（２）共通発展科目

（生体分野）

授業科目の名称	配当年次	履修区分	単位数	授業時間数（時間）
看護学概説	１前	必修	２	３０
人体の構造と機能及び疾病	１前	必修	２	３０
リハビリテーション医学	１後	必修	２	３０
健康科学	２前	必修	２	３０
精神疾患とその治療Ⅱ	３後	必修	２	３０

（社会分野）

授業科目の名称	配当年次	履修区分	単位数	授業時間数（時間）
現代社会と福祉Ⅰ	１前	必修	２	３０
社会保障論Ⅰ	２前	必修	２	３０
保健医療サービス論	２前	必修	２	３０
地域福祉論Ⅰ	２前	必修	２	３０
福祉サービスの組織と経営	３後	必修	２	３０
こども家庭ソーシャルワーク概論	１前	必修 選択	１	１５
こどもの精神医学入門	１後	必修 選択	１	１５

（心理分野）

授業科目の名称	配当年次	履修区分	単位数	授業時間数

				(時間)
心理学概論	１前	必修	２	３０
ライフサイクルの心理学（発達心理学)	１後	必修	２	３０
健康心理学（健康・医療心理学Ａ）	１後	必修	２	３０
臨床心理学概論	２前	必修	２	３０
社会心理学（社会・集団・家族心理学Ｂ）	２後	必修	２	３０

（３）チュートリアル科目

授業科目の名称	配当年次	履修区分	単位数	授業時間数(時間)
チュートリアルⅠ	２後	必修	２	３０
チュートリアルⅡ	３後	必修	２	３０
チュートリアルⅢ	４後	必修	１	１５

（４）コース専門科目

(理学療法コース専門科目)

授業科目の名称	配当年次	履修区分	単位数	授業時間数(時間)
情報科学	１前	必修	１	１５
解剖学Ⅰ	１前	必修	１	３０
解剖学Ⅰ実習	１前	必修	２	６０
解剖学Ⅱ	１後	必修	１	３０
解剖学Ⅱ実習	１後	必修	２	９０
生理学	１通	必修	２	６０
生理学実習	１後	必修	２	６０
生化学	１前	必修	１	３０
病理学	１後	必修	１	３０
人間発達学	１後	必修	１	３０
運動学Ⅰ	１後	必修	１	３０
運動学Ⅱ	２前	必修	１	３０
運動学実習	２後	必修	１	３０
薬理学	２前	必修	１	１５
臨床医学Ⅰ－１	２前	必修	１	３０
臨床医学Ⅰ－２	２後	必修	１	１５

授業科目の名称	配当年次	履修区分	単位数	授業時間数（時間）
臨床医学Ⅱ－１	２前	必修	１	３０
臨床医学Ⅱ－２	２後	必修	１	１５
臨床医学Ⅲ－１	２前	必修	１	３０
臨床医学Ⅲ－２	２後	必修	１	１５
理学療法概論	２前	必修	１	１５
理学療法管理学	３後	必修	２	３０
理学療法評価学Ⅰ	２前	必修	１	３０
理学療法評価学Ⅰ実習	２前	必修	２	６０
理学療法評価学Ⅱ	２後	必修	１	３０
理学療法評価学Ⅱ実習	２後	必修	２	６０
運動器系理学療法学Ⅰ	２後	必修	１	３０
運動器系理学療法学Ⅱ	３前	必修	１	３０
運動器系理学療法学実習	３後	必修	１	３０
神経系理学療法学Ⅰ	３前	必修	１	３０
神経系理学療法学Ⅰ実習	３後	必修	１	３０
神経系理学療法学Ⅱ	３前	必修	１	３０
神経系理学療法学Ⅱ実習	３後	必修	１	３０
内部障害理学療法学Ⅰ	２後	必修	１	３０
内部障害理学療法学Ⅱ	２後	必修	１	３０
内部障害理学療法学実習	３前	必修	１	３０
発達系理学療法学	３前	必修	１	３０
義肢装具学	２後	必修	１	３０
義肢装具学実習	３前	必修	１	３０
物理療法学	３前	必修	１	３０
物理療法学実習	３前	必修	１	３０
基礎理学療法学	３前	必修	１	１５
基礎理学療法実習	３前	必修	１	３０
疼痛の理学療法学	３後	必修	１	１５
ＡＤＬ学	３後	必修	１	３０
ＡＤＬ学実習	３後	必修	１	３０
地域理学療法学	３後	必修	１	１５
理学療法学研究論	３通	必修	２	６０
理学療法学研究演習	４通	必修	２	６０
基礎臨床実習Ⅰ	１後	必修	１	４０

授業科目の名称	配当年次	履修区分	単位数	授業時間数(時間)
基礎臨床実習Ⅱ	２後	必修	1	４０
臨床実習Ⅰ	３後	必修	4	１６０
臨床実習Ⅱ	４前	必修	7	２８０
臨床実習Ⅲ	４前	必修	7	２８０

（社会福祉実践コース専門科目）

授業科目の名称	配当年次	履修区分	単位数	授業時間数(時間)
現代社会と福祉Ⅱ	１後	選択	2	３０
社会学と社会システム	１前	選択	2	３０
社会福祉調査の基礎	３前	選択	2	３０
社会保障論Ⅱ	２後	選択	2	３０
地域福祉論Ⅱ	２後	選択	2	３０
児童・家庭福祉	２前	選択	2	３０
障害者福祉	２後	選択	2	３０
高齢者福祉	２前	必修	2	３０
貧困に対する支援	２前	選択	2	３０
権利擁護を支える法制度	２前	選択	2	３０
刑事司法と福祉	２後	選択	2	３０
ソーシャルワークの基盤と専門職	１後	選択	2	３０
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	２前	選択	2	３０
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	２後	選択	2	３０
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	３前	選択	2	３０
ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ	３後	選択	2	３０
ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	４前	選択	2	３０
ソーシャルワーク演習	２前	選択	2	３０
ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ	２前	選択	2	３０
ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ	２後	選択	2	３０
ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ	２後	選択	2	３０
ソーシャルワーク演習(専門)Ⅳ	４前	選択	2	３０
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	２後	選択	2	３０
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	３前	選択	2	３０
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	３後	選択	2	３０

授業科目の名称	配当年次	履修区分	単位数	授業時間数（時間）
ソーシャルワーク実習Ⅰ	２後	選択	2	６０
ソーシャルワーク実習Ⅱ	３前	選択	6	１８０
現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	３前	選択	2	３０
現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	３後	選択	2	３０
精神疾患とその治療Ⅰ	３前	選択	2	３０
精神保健福祉の原理Ⅰ	２前	選択	2	３０
精神保健福祉の原理Ⅱ	２後	選択	2	３０
ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ａ	３前	選択	2	３０
ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ｂ	３後	選択	2	３０
精神障害リハビリテーション論	３前	選択	2	３０
精神保健福祉制度論	３前	選択	2	３０
ソーシャルワーク演習(専門)Ａ	３後	選択	2	３０
ソーシャルワーク演習(専門)Ｂ	３後	選択	2	３０
ソーシャルワーク演習(専門)Ｃ	４後	選択	2	３０
ソーシャルワーク実習指導Ａ	３後	選択	2	３０
ソーシャルワーク実習指導Ｂ	４前	選択	2	３０
ソーシャルワーク実習指導Ｃ	４後	選択	2	３０
ソーシャルワーク実習	４前	選択	5	１５０
卒業研究指導Ⅰ	３前	必修	2	３０
卒業研究指導Ⅱ	３後	必修	2	３０
卒業研究Ⅰ	４前	必修	2	３０
卒業研究Ⅱ	４後	必修	2	３０
卒業論文	４後	必修	4	６０

（心理学コース専門科目）

授業科目の名称	配当年次	履修区分	単位数	授業時間数（時間）
心理学統計法	１後	選択	2	３０
心理学実験	１後	選択	2	３０
心理学研究法	３前	選択	2	３０
心理的アセスメント	３前	選択	2	３０
心理演習	３通	選択	4	６０
感情心理学（感情・人格心理学Ｂ）	１後	選択	2	３０

授業科目の名称	配当年次	履修区分	単位数	授業時間数（時間）
行動分析学（学習・言語心理学）	２後	選択	2	３０
神経心理学（神経・生理心理学）	３前	選択	2	３０
知覚・認知心理学	３前	選択	2	３０
発達と学習の心理学Ⅰ	１後	選択	2	３０
発達と学習の心理学Ⅱ	２前	選択	2	３０
対人関係と家族の心理学（社会・集団・家族心理学Ａ）	３前	選択	2	３０
産業・組織心理学	４前	選択	2	３０
障害者・障害児心理学	１後	選択	2	３０
人格心理学（感情・人格心理学Ａ）	２前	選択	2	３０
臨床心理学実践論（心理学的支援法）	２後	選択	2	３０
司法・犯罪心理学	２後	選択	2	３０
教育臨床心理学（教育・学校心理学）	３前	選択	2	３０
医療心理学（健康・医療心理学Ｂ）	３後	選択	2	３０
福祉心理学	４前	選択	2	３０
関係行政論	２前	選択	2	３０
現代社会と福祉Ⅱ	１後	選択	2	３０
ソーシャルワークの基盤と専門職	１後	選択	2	３０
貧困に対する支援	２前	選択	2	３０
児童・家庭福祉	２前	選択	2	３０
障害者福祉	２後	選択	2	３０
刑事司法と福祉	２後	選択	2	３０
精神疾患とその治療Ⅰ	３前	選択	2	３０
現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	３前	選択	2	３０
現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	３後	選択	2	３０
臨床実践職能論（公認心理師の職責）	３前	選択	2	３０
実践領域実習Ⅰ（心理実習Ａ）	２通	選択	1	３０
実践領域実習Ⅱ（心理実習Ｂ）	３通	選択	1	３０
心理学特別研究	３後	必修	2	３０
卒業課題研究Ⅰ	４前	必修	2	３０
卒業課題研究Ⅱ	４後	必修	2	３０
卒業研究	４後	必修	4	３０

別表第３（第７条関係）

授業科目名	履修登録の要件
基礎臨床実習Ⅰ	基礎臨床実習Ⅰが開始される前に開講される共通基礎科目，生体分野の共通発展科目，理学療法コース専門科目及び医療倫理の授業科目を履修し，単位修得済又は修得見込であること。
基礎臨床実習Ⅱ	基礎臨床実習Ⅱが開始される前に開講される共通基礎科目，生体分野の共通発展科目及び理学療法コース専門科目の授業科目を履修し，単位修得済又は修得見込であること。
臨床実習Ⅰ	臨床実習Ⅰが開始される年度の前学期までに開講される共通基礎科目，生体分野の共通発展科目及び理学療法コース専門科目の授業科目を履修し，単位修得済又は修得見込であること。
臨床実習Ⅱ	臨床実習Ⅱが開始される前に開講される共通基礎科目，生体分野の共通発展科目及び理学療法コース専門科目の授業科目を履修し，単位修得済又は修得見込であること。
臨床実習Ⅲ	臨床実習Ⅲが開始される前に開講される共通基礎科目，生体分野の共通発展科目及び理学療法コース専門科目の授業科目を履修し，単位修得済又は修得見込であること。

別表第４（第７条関係）

授業科目名	履修登録の要件
ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	以下の全てを満たす者 （１）下記の１０科目のうち８科目以上の単位を取得している者 ①福祉健康科学概論 ②リハビリテーション概論 ③アーリー・エクスポージャー ④人体の構造と機能及び疾病 ⑤リハビリテーション医学 ⑥現代社会と福祉Ⅰ ⑦心理学概論 ⑧現代社会と福祉Ⅱ ⑨社会学と社会システム ⑩ソーシャルワークの基盤と専門職 （２）ＧＰＡ１．８以上の者 （３）自律性，社会性等の観点から，実習に耐え得ると見込まれる者
ソーシャルワーク実習Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	以下の全てを満たす者 （１）ソーシャルワーク実習Ⅰ，ソーシャルワーク実習指導Ⅰの単位を取得している者 （２）下記の１９科目のうち１６科目以上の単位を取得している者 ①地域包括ケア概論 ②社会保障論Ⅰ ③保健医療サービス論 ④地域福祉論Ⅰ ⑤チュートリアルⅠ ⑥社会保障論Ⅱ ⑦地域福祉論Ⅱ ⑧児童・家庭福祉 ⑨障害者福祉 ⑩貧困に対する支援 ⑪権利擁護を支える法制度 ⑫刑事司法と福祉 ⑬ソーシャルワークの基盤と専門職(専門) ⑭ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ ⑮高齢者福祉

	⑯ソーシャルワーク演習 ⑰ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ ⑱ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ ⑲ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ （３）ＧＰＡ１．８以上の者 （４）自律性，社会性等の観点から，実習に耐え得ると見込まれる者

別表第５（第７条関係）

授業科目名	履修登録の要件
実践領域実習Ⅰ（心理実習Ａ）	以下の全てを満たす者 （１）下記６科目の単位を取得している者 ①福祉健康科学概論 ②アーリー・エクスポージャー ③心理学概論 ④ライフサイクルの心理学（発達心理学） ⑤健康心理学（健康・医療心理学Ａ） ⑥障害者・障害児心理学 （２）ＧＰＡ１．８以上の者
実践領域実習Ⅱ（心理実習Ｂ）	以下の全てを満たす者 （１）下記５科目の単位を取得している者 ①実践領域実習Ⅰ（心理実習Ａ） ②臨床心理学概論 ③人格心理学 ④臨床心理学実践論（心理学的支援法） ⑤司法・犯罪心理学 （２）ＧＰＡ１．８以上の者